

民生文教委員会 「防災教育や災害弱者への支援について語ろう！」

委員長 水野正光、副委員長 小林敏彦、柴田浩行、後藤幸夫、柴山一生、稲垣民夫

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	福祉会館について、耐用年数があと数年だが（耐震は）大丈夫か	平成 16 年度に耐震化を行っております。
2	内田地区では地域での防災訓練を行ったが、全市で同様のことを行なうべきではないか。	議会としてもその取り組みを研究していきたいと考えます。
3	災害時のボランティア受け入れのため、災害ボランティアコーディネーター育成を市で行えないか。	社会福祉協議会のコーディネーターが増加していると聞いています。議会としてもボランティアする人をバックアップしていきたいと思えます。
4	災害時の火災について、高齢者の施設入居等空き家・廃屋が問題と考えるが、それらの管理を市で行えないか。	災害時の大きな問題と認識しています。市もこの件について研究中ですが、所有権の問題もあり、強制撤去等は難しく、時間を要すると聞いています。
5	東小学校の通学路に災害時や警報時（大雨・ゲリラ豪雨等）に危険な箇所がある。子どもたちに、具体的にどのような指導をしているのか。	具体的に学校名が出ましたので、確認し、後日回答します。 《学校教育課からの回答》 登下校中の緊急対応については、通学班集会や安全指導の学活時に①大人に助けを求める②誰もいなければ、高学年は低学年を連れて安全と思う所に移動する③駆けつけた大人の指示に従う、ことをポイントに指導しています。また、異常気象が心配される時は緊急メールを配信して保護者の協力を求めています。
6	市は災害時の要援護者名簿を作成し始めているが、希望者のみで実態をつかんでいるか不安である。また、防災訓練では障害者団体はあまり呼びかけがされていない。実際の災害に対応できるように議員が地域に入って欲しい。	重要な問題と捉えています。民生文教委員会も身体障害者福祉協会などと意見交換を行い、さらに勉強しなければならぬと感じています。

建設経済委員会 「あなたの意見でまちおこし！」

委員長 ビアンキアンソニー、副委員長 吉田鋭夫、鈴木伸太郎、中村貴文、岡覚、上村良一、堀江正栄

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	カーブミラーなどが壊れているのをよくみかけるが、どこに言えばいいのか。	安全優先で緊急性の高いことは、気づいた方が議員や市役所へ直接連絡していただければ、早急に対処します。
2	フロイデの修繕など多くの費用がかかるが、施設ばかり本当に必要なのか。	新規建設については、議会でも慎重審査しています。計画的に維持管理や補修を進めるよう行政に働きかけていきます。
3	市内の道路整備はあちこちで途中で止まっているのをみかけるが、どうして集中して工事を行い完了できないのか。	予算や法律の規制、地権者の同意などが原因で連続した整備ができない場合もあります。議会として関係機関に積極的に働きかけ、市民要望に応えられるよう粘り強く努力していきます。
4	観光案内所でも市役所の電話番号や公共施設の場所など分かるようにしてほしい。	分からないことは調べて対応し、来られた方が満足していただけるサービスが提供できるように働きかけていきます。また、市民全員がおもてなしの気持ちで、温かく迎える気持ちを持つことも呼びかけていきます。
5	犬山のまちおこし、例えば観光は行政と民間企業、その他いろいろな団体が協力してやっているが、議会もまちおこしに関わっているか。	市民の方や団体との懇談で多くのアイデアや要望を聞き、関係機関との連携を図ったり、事業の予算審議をしたり様々な関わりがあります。
6	犬山は自然がいっぱいあるのでそれを上手につかって健康市民をつくり、近隣に誇れる健康長寿の町を目指してはどうか。	現在取り組んでいるウォーキングトレイル事業など健康寿命を延ばす施策は市の施策としても重要なものです。行政の事業だけでなく、市民の皆様の情報やアイデアを活かし、みんなで積極的に推進していきたいと考えます。

平成24年11月18日開催
市民との意見交換会
市民の皆さんのご意見とその回答



犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、昨年11月18日に南部公民館で「市民との意見交換会」を開催いたしました。

片田敏孝先生の記念講演の後、3常任委員会に分かれ、それぞれのテーマについて、市民の皆さんから貴重なご意見をいただきました。



総務委員会



建設経済委員会



民生文教委員会

今回は、その中での主なご意見について各委員会で見解をまとめましたのでご紹介します。

総務委員会 「防災そこまで言って委員会！」

委員長 大沢秀教、副委員長 久世高裕、岡村千里、市橋円広、矢幡秀則、三浦知里

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	今年度新たに公民館などが避難所指定されたが、備蓄品などが何も手当てされていないところがある。	順次整備を進めているところですが、議会としても強く求めています。
2	施設だけではなく、災害の種類によっては、広場も避難所に指定するべきではないか。	ご指摘のとおりだと考えます。地域の情報を的確に把握して改善が図られるよう、行政にも強く訴えていきます。
3	小牧市は地デジの情報欄で災害の種類に応じて細かく避難所情報を発信しているが、犬山市はメチャクチャだ。	委員会所属の矢幡秀則議員が一般質問を行い、すでに改善されました。
4	楽田小学校は体育館が2階にあり、そこが避難所になっているのは不便だ。	体育館は将来的に建て替える方向性で検討しており、改善を図っていきます。
5	白寿苑の裏山の土砂崩れは大丈夫か。	現在、地権者と交渉中です。
6	要支援者、要介護者の情報がわからない。	個人情報の取り扱いの問題もあり、町会長や民生委員の方々と連携して対応していきたいと考えています。
7	自主防災組織が独自の活動を行うにあたってどんなことをすればいいのか。	市が窓口となって各種研修・訓練等をご案内しておりますので、お気軽にご相談ください。
8	災害発生時に情報伝達をする手段は何があるのか。	現在、広報車のご案内や携帯加入者に自動的に届く「エリアメール」、事前に登録をしていただく「犬山市安心情報メール」などがあり、議会としてはツイッターの活用やお問い合わせ専用ダイヤルの設置も求めています。